

「北区生活寄り添い ボランティア」通信

第11号

2018年

9月

平成30年9月28日（金）、「北区生活寄り添いボランティア」のメンバー18名が集まり、1月から活動をはじめている生活支援ボランティア活動の報告などをおこないました。

はじめに、活動報告をそれぞれの活動者からいただきました。



- ①買い物代行ボランティア（新琴似地区）～「9月7日の活動は地震発生のため、できませんでした。依頼者のお宅では、食器棚が倒れたのですが、普段から近所付き合いがあるおかげで、隣近所の方々が対応してくれました。」
- ②お掃除ボランティア（拓北・あいの里地区）～「9月14日に活動してきました。特に問題なく活動しています。地震のあと、家族が来ていました。」
- ③買い物代行ボランティア（北地区）～「9月13日にパン屋さんで買い物をしてきましたが、地震の影響もあってか、前もっての予約ができませんでした。9月23日は前もって予約ができました。」
- ④家庭菜園を一緒におこなうボランティア（新琴似西地区）～「9月9日に草取りをしました。作物も実っており、収穫もできました。特にトマトときゅうりを喜んでいました。」
- ⑤お掃除と買い物代行ボランティア（篠路地区）～「休止中です。※区社協で状況を確認後、活動者へ伝えます。」
- ⑥お話し相手ボランティア（麻生地区）～「月に2回行っています。地震があった時のことを聞いたところ、怖かったとのこと。最近は話をすることがますますできなくなっています。」
- ⑦目の不自由な方への郵便物の代読と買い物代行ボランティア（屯田地区）～「第1水曜日はパソコンの打ち込みのお手伝いもありました。第3水曜日はいろいろな店に行って時間がかかりました。」
- ⑧将棋のお相手ボランティア（新川地区）～「将棋の真剣勝負です。世間話がなく、月に2回の活動を続けることは難しく思ってきました。ただ、9月28日の活動では、はじめて「ありがとうございました」と言われました。※区社協で担当のケアマネジャーと依頼者へ将棋ボランティアの感想などを聞き、今後の活動に関して活動者と確認することになりました。」

続いて、生活寄り添いボランティアのメンバーをとおして依頼者本人から要請があった、生活支援ボランティアについて話し合いをしました。

今回、活動要請があったのは、新川地区にお住まいで、80代と50代の親子二世帯のゴミだしボランティアです。母親が要介護、子どもが脳出血の後遺症で左半身がマヒしており、階段の上り下りも大変な状況です。燃えるゴミやその他のゴミについて、搬出日を確認し、活動をしてくれる方を募集しました。

その結果、同じ新川地区にお住まいで、今回、依頼者へ声かけをしていただいた男性メンバーとそのメンバーの近所に住んでいる方に活動していただくことになりました。声かけをしてくれたメンバーは、以前、依頼者が冬にゴミだして、とても大変な状況を見たことがあり、何度かお手伝いをしたことがあるとのこと。これからは、生活寄り添いボランティアのメンバーとともにできる範囲で継続して生活支援ボランティア活動をしていきます。



ボランティア 募集中



札幌市北区の生活支援ボランティアグループ「北区生活寄り添いボランティア」では、主に北区内に在住の高齢者世帯へのボランティア活動をおこなっています。

現在、会員が18名。高齢者の皆さんが住み慣れた地域でいきいきと生活することができるよう、公的制度やサービスだけでは支えられない日常生活上の「ちょっとした困りごと」のお手伝いを通して、その方の気持ちに寄り添い、つながりを持ち、暮らしの応援をしていく活動をしています。原則、複数名で活動し、お話し相手や住居の片づけ、買い物代行などの活動をしています。通院などの外出時の付き添いもすることができます。費用は原則無償（外出時付き添いにかかる交通費等は依頼者負担）です。

ケアマネジャーや福祉専門機関のほか、民生委員・児童委員の方々からもボランティア依頼のご連絡をお待ちしております。お気軽にご連絡ください。

【お問合せ先】

〒001-0024 札幌市北区北24条西6丁目北区役所1階

社会福祉法人札幌市北区社会福祉協議会 札幌市北区ボランティア活動センター

TEL757-2482 Fax737-7270